

道路事業

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）に基づき、「世界の北海道」を目指して、「食料供給基地としての持続的発展」、「『観光先進国』実現をリードする世界水準の観光地の形成」及び「強靱な国土づくりと安全・安心な社会基盤の形成」を推進するための社会資本整備等を重点事項として実施します。特に、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付け、食と観光を担う「生産空間」を支えていくため、我が国の経済成長を支える北海道の戦略的産業の振興や、その前提となる北海道の国土強靱化等の分野に重点化し、ストック効果が最大限発揮されるよう、安定的・持続的な社会資本整備を推進します。

広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進します。

- 北海道横断自動車道根室線(本別～釧路)ほか
L=6.9km 【平成30年度開通予定】
- 国道38・44号 釧路外環状道路
L=7.1km 【平成31年度開通予定】
- 国道44号 根室道路
L=6.6km 【平成30年度開通予定】
- 釧路中標津道路 上別保道路



北海道横断自動車道 本別～釧路



国道44号 根室道路

冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細かな地域支援

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、自治体支援のため除雪機械の貸付やリエゾン[※]の派遣による災害関連情報の共有等の支援体制構築について継続的に実施します。

(注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員)

道路施設の老朽化対策

安全・安心の確保のため、インフラ長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるための取組を推進します。

- 国道38号ほか 橋梁補修

交通安全対策の推進

事故データや地域の声、ビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)を推進します。

- （平成30年度新規事業化）国道240号シアンヌ交差点改良、国道244号尾岱沼視距改良、国道335号羅臼事故対策
- （継続事業）国道240号阿寒交通事故対策ほか2か所

北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクリング環境を構築してサイクルツーリズムを推進するため、モデルルートでの試行を通じ、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信を行うとともに、安全で快適な自転車走行環境を創出します。

試行しているモデルルート（平成29年度）



路面表示（矢羽根）の設置

道路の防災対策、震災対策の推進

救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路上の橋梁等の耐震化、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

- 国道44号 根室防雪
- 国道335号 標津防災 ほか

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。

- 国道44号 釧路末広町電線共同溝

道路事業の概要

路線・地区名	主要事業	
高規格幹線道路	北海道横断自動車道根室線	北海道横断自動車道（本別～釧路）
	国道38号及び44号	釧路外環状道路
	国道44号	根室道路
地域高規格道路	釧路中標津道路	上別保道路
一般国道	国道38号	釧路新道【道路の改築】
	国道38号ほか	橋梁補修
	国道44号	根室防雪【道路の防災・震災対策】
	国道44号	雪裡橋架替【道路の防災・震災対策】
	国道44号	釧路末広町電線共同溝【無電柱化の推進】
	国道240号ほか 国道335号	阿寒交通事故対策ほか5か所【交通安全対策の推進】 標津防災【道路の防災・震災対策】